

整形外科向け 交通事故診療強化セミナーのご案内

整形外科クリニック業界と交通事故診療の動向

2024年の診療報酬改定は、人件費を上げDXへの投資を行い、医療サービスの質と生産性の両方を上げるための変化を迫られる”コスト増”の改定でした。一方で、整形外科クリニックの数は、年々増加傾向にあり、地域一番クリニックであっても集患対策を続けていかないといけない、”集客コスト増”の時代に入ってきております。そのようなダブルコスト増が分かっている中で、今後の地域一番クリニックの目指すべき方向性と経営のポイントの解説、及び整形外科クリニック運営における交通事故診療のポジションについて解説いたします。

株式会社船井総合研究所 医療支援部 整形外科グループ シニアコンサルタント 野中 達裕



第1講座

地域に根差す整形外科クリニックが取り組む三方良しの交通事故診療

西尾市の医療不足を感じ、受診難民を無くすべく開業を決意。開業わずか3年で単月2,000万円を超える地域に求められる診療所へ成長。交通事故患者は整形外科診療所にとって大変なことが多いと言われ、自身でも多少大変さを感じていた。しかし、その現状が交通事故の被害者を受診難民にしていると気づき、不安はありつつも積極的に受け入れ始める。大変になると予測された業務は、患者数が9倍に増えた現在の方がスムーズに回っている。全国を受診難民が少なくなることを願い、交通事故治療を強化し急成長をされている診療所の実態を大公開。

うえだ整形外科クリニック 院長 上田 英範 氏



第2講座

交通事故診療を強化するための仕組みづくりと事例紹介

多数の事例をもとにルール化された、地域に根差すクリニックの交通事故患者への最新の対応方法を大公開いたします。そのまま使えるツールや具体的に取り組める対策など、他では聞きにくいノウハウを徹底解説いたします。適切な情報発信や受付での対応・リハビリスタッフの言葉がけ一つで、院内での雰囲気や患者さんとのコミュニケーションに変化を起こす方法など、明日からご活用いただける内容ばかりとなっております。

株式会社船井総合研究所 医療支援部 内科グループ シニアコンサルタント 今 勝彦



第3講座

まとめ講座

本日のセミナーのまとめと、明日から具体的に取り組んでいただきたいこととお話させていただきます。

株式会社船井総合研究所 医療支援部 整形外科グループ マネージャー 小栗 陵太



第4講座

開催要項

2025年 6月 14日(土)	15:00~17:30 (ログイン開始:開始時刻30分前~)
6月 15日(日)	10:00~12:30 (ログイン開始:開始時刻30分前~)
6月 15日(日)	14:00~16:30 (ログイン開始:開始時刻30分前~)
6月 21日(土)	15:00~17:30 (ログイン開始:開始時刻30分前~)

※講座内容はすべて同じです。ご都合のよい日時をおひとつお選びください。

開催方法 **オンライン開催**

お申込み期日
銀行振込み：開催日6日前まで
クレジットカード：開催日4日前まで
※祝日や連休により変動する場合がございます。

受講料 一般価格 税抜 30,000円(税込 33,000円)/一名様 会員価格 税抜 24,000円(税込 26,400円)/一名様
●会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

お申込み方法



【QRコードからのお申込み】 右記QRコードからお申込みください。



【PCからのお申込み】
<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/128548>
船井総研ホームページ(https://www.funaisoken.co.jp)に右上検索窓に「128548」をご入力し検索ください。



船井総研セミナー事務局 E-mail seminar271@funaisoken.co.jp TEL 0120-964-000(平日9:30~17:30)
※よくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

総勢74名が参加された大好評セミナーの
リバイバル開催が決定!

年商2億円を超えてきた
整形外科クリニックが
取り組んでいる
交通事故診療強化

地域に根差した整形外科の 交通事故 診療の実際

交通事故被害者が治療難民にならないような受け入れ体制が必要と気がついてから、受け入れ体制を強化しました。当初は不安がりましたが、適切な対応を強化することで、満足度も治療効果も上がり、業務はスムーズになりました。



うえだ整形外科クリニック 院長 上田 英範 氏

よくある3つの大変さの解消に向けて

- 患者対応**
治療意欲の低い方や訴えが強い方の対応が難しく雰囲気が悪くなるので大変
- 書類対応**
通院が続かない方や事故から数カ月後のご来院の方に書類が欲しいと言われても書類が書きづらく大変
- スタッフの協力体制**
業務に時間がかかるにも関わらず、スタッフからの協力が得られにくく大変

愛知県西尾市の医療不足を感じ、受診難民を無くすべく開業を決意。開業わずか3年で単月2,000万円を超える地域に求められる診療所へ成長。適切な受け入れ体制を強化したことで、交通事故患者数が2年で9倍に増えた現在の方が業務がスムーズに回っている。

開催要項

全日程 オンライン 開催 すべてオンライン(Zoom)での開催になります。 ※講座内容はすべて同じです。ご都合のよい日時をおひとつお選びください。	2025年 6月 14日(土)	2025年 6月 15日(日)	2025年 6月 15日(日)	2025年 6月 21日(土)
	15:00~17:30 (ログイン開始:開始時刻30分前~)	10:00~12:30 (ログイン開始:開始時刻30分前~)	14:00~16:30 (ログイン開始:開始時刻30分前~)	15:00~17:30 (ログイン開始:開始時刻30分前~)

整形外科向け 交通事故診療強化セミナー

お問い合わせNo.S128548



株式会社船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル

セミナーのお申込みはこちら⇒



当社ホームページからお申込みいただけます。(船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp] 右上検索窓に「お問い合わせNo.」を入力ください。) → 128548

さっそくですが、こちらの実践結果をご覧ください！
 全国で交通事故診療を強化することで、患者数・業績が大幅に伸びている整形外科クリニックが続出しています！

医院名	所在行政区 または 市区町村の人口 ※政令指定都市は 行政区の人口	月間 交通事故治療患者数 1年間の推移	月間 自賠責保険売上額 1年間の推移
A整形外科	5～10万人	35名/月 ➔ 80名/月 昨対比 229%	150万/月 ➔ 340万/月 昨対比 227%
B整形外科	3～5万人	24名/月 ➔ 49名/月 昨対比 204%	120万/月 ➔ 250万/月 昨対比 208%
C整形外科	3～5万人	35名/月 ➔ 50名/月 昨対比 143%	190万/月 ➔ 320万/月 昨対比 168%
D整形外科	5～10万人	35名/月 ➔ 60名/月 昨対比 171%	180万/月 ➔ 360万/月 昨対比 200%
E整形外科	10～20万人	31名/月 ➔ 42名/月 昨対比 135%	270万/月 ➔ 400万/月 昨対比 148%
F整形外科	5～10万人	15名/月 ➔ 35名/月 昨対比 233%	130万/月 ➔ 390万/月 昨対比 300%
G整形外科	10～20万人	28名/月 ➔ 60名/月 昨対比 214%	100万/月 ➔ 380万/月 昨対比 380%
H整形外科	10～20万人	16名/月 ➔ 30名/月 昨対比 188%	75万/月 ➔ 250万/月 昨対比 333%

続けて、交通事故診療を強化して実績を出されている
整形外科クリニックからのコメントをご紹介します！

運動器リハビリとの親和性が高い！ リハビリ体制の充実で、治療効果は上がり業績もアップ！



A整形外科
院長

月間
交通事故治療患者数
35名/月→80名/月
1年で **229%**

月間
自賠償保険売上額
150万/月→340万/月
1年で **227%**

交通事故診療を強化する前の状況

運動療法を処方できる体制が整っていなかったため、ほぼ物理療法と診断書記載のみの加療でした。

交通事故診療を強化したきっかけ

運動療法を2単位制から1単位制に変更したことで、理学療法士の人員を変えずにより多くの患者さんに運動療法を処方できるようになったためです。

交通事故診療を強化してよかったこと

患者さんの状態がより早く回復するようになりました。後遺症診断の割合も減ったかと思われます。土日や夜しか通院できない方もいるため、整骨院の併用は認めていますが、経過報告に定期的に来院してもらうようにしています。

交通事故診療の今後の取り組み

リハビリ室の拡張や設備の強化、PTの増員などによって、より後遺症が残らないような治療体制を構築していきたいです。

地域に信頼され、結果として、収益性も高い！



B整形外科
院長

月間
交通事故治療患者数
24名/月→49名/月
1年で **204%**

月間
自賠償保険売上額
120万/月→250万/月
1年で **208%**

交通事故診療を強化する前の状況

開院当初は業務が大変だという印象が強かったです。

交通事故診療を強化したきっかけ

集患対策をして、運動器リハビリの処方を増やしていったら自然に増えていきました。どのような患者さんにも寄り添って対応もしており、スタッフが協力的であることも実績につながっていると思います。

交通事故診療を強化してよかったこと

地域の中で、事故なら当院という評判が立ってきています。地域に信頼されるには必要だと思えます。収益的にもメリットが大きいです。

交通事故診療の今後の取り組み

当院の強みとして、これからもアピールしていきたいです。

ゲスト講師のご紹介



うえだ整形外科クリニック

愛知県西尾市一色町に2021年8月4日に開院。
地域に必要な整形外科クリニックの形を模索し急成長を遂げ、
現在も継続的に業績を拡大させている。

当院の強み・特徴は

- ✓ 思いやりの心を持った診療や対応
- ✓ No2である右腕の存在
- ✓ 充実したリハビリ体制
- ✓ エコーを用いた診療 です。

【略歴】

平成19年3月 金沢医科大学卒業
平成19年4月 名古屋医療センター研修医
平成21年4月 名古屋医療センター整形外科
平成25年4月 聖霊病院整形外科
平成27年4月 なかざわ記念クリニック整形外科

【資格】

日本整形外科学会整形外科専門医
日本整形外科学会認定リウマチ医
日本整形外科学会認定スポーツ医
日本整形外科学会認定
運動器リハビリテーション医



うえだ整形外科クリニック
院長 上田 英範 氏

◆『信頼される医療』を目指し、 愛知県西尾市に2021年8月4日に開院

私は、小さい頃から医師になることが夢でした。
両親の応援もあり、金沢医科大学を卒業し、医師になることができました。
医師になった時から
『スーパードクターや名医でなくてもよい。
地域の患者さんに信頼してもらえたい』という想いを強く
持っています。

研修医の時には『自分の手術で症状が良くなり、元気になって在宅復帰
される』ということにやりがいや魅力を感じ、整形外科を選択することに
しました。
その後、西尾市の整形外科に従事していると、市の遠くから時間をかけて
通院されている患者さんが多く、市内に整形外科クリニックが不足して
いることに気づきました。

また、私が理想とする信頼される医療を地域の皆様に対して積極的に行
いたいと思い、西尾市での整形外科クリニックの開業を決意しました。

◆ クリニック運営に必要な経営理念 『院長を含めた全スタッフの道しるべ』

開院当初は、経営やマネジメントについて、何も知らないということに気づき、運営の勉強を始めました。その中で、経営理念の必要性に気づき、クリニック独自の経営理念を作成しました。

経営理念は、スタッフの道しるべとなるためにも、院長自身の言葉で作る必要があると思います。医師になった時からの想いである『信頼される医療』も理念として明記しており、スタッフにはそれを定期的に伝えていきます。



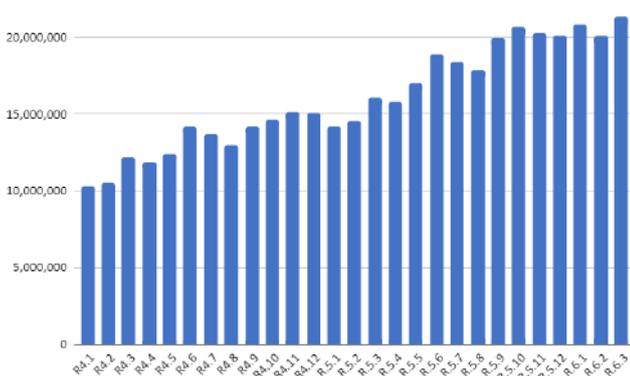
◆ 開業から現在までの沿革

クリニックの業績や来院患者数は、ありがたいことに、開業以来、右肩上がりで伸び続けてきています。

ただ、マネジメントや人事に関しては、たくさん悩んできました。現在は、当院の風土に合う方が働きやすい土壌を整えることができてきたと思っています。

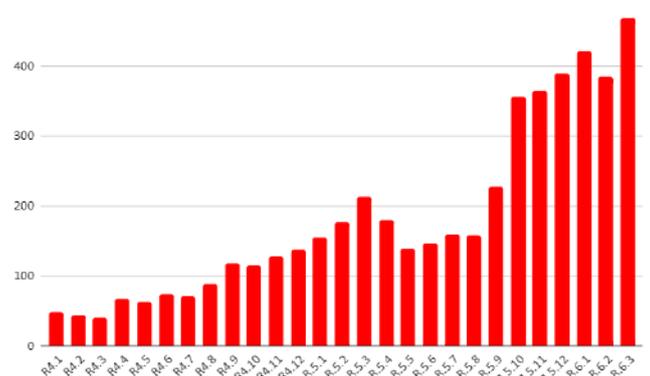
そして、交通事故診療の患者数や業績も伸びてきており、今となっては当院には欠かせない診療の柱となっています。

2,000万円突破



業績(医業収入)

2年で患者数約9倍



自賠責保険 延べ患者数

◆ 交通事故診療の受け入れ体制の強化と当初感じていた“不安”

交通事故患者さんは整形外科クリニックにとって大変なことが多いと言われることもありますが、自分自身でも病院勤務の時から、多少の大変さを感じていました。交通事故に遭われた方の場合、疼痛の原因がはっきりしないことや症状が完治しないこともあるかと思えます。

しかし、その現状が交通事故の被害者を受診難民にしていると気づき、積極的に交通事故患者さんの受け入れを強化しました。

正直なところ、はじめは不安が大きかったです。

ただ、交通事故患者さんは被害者が多く、そのような方が治療難民にならないための受け皿をつくることが、地域に根差した整形外科クリニックの責務だと感じ、思い切って舵取りをしました。



◆ 交通事故診療の強化に欠かせないスタッフ教育と連携

スタッフには積極的に協力してもらえよう、どのように説明したらよいかいろいろと悩みましたが、

交通事故被害者を救うためにも、『信頼される医療』を実現するためにも、交通事故診療の強化は当院の責務であり、地域に求められているものはやっていく必要がある、とスタッフに取り組みの目的や背景を何度も説明しました。

併せて、整形外科業界の動向など、大きな視点からの説明もしています。現在では、交通事故診療の重要性を理解し、業務に積極的なスタッフもかなり増えてきて、スムーズに対応できるようになっています。



◆ 交通事故診療の強化に向けて取り組んださまざまなアクション

まずは、ホームページの対策からはじめ、さまざまな対策を行っていきました。適切な情報発信は、集患だけではなく、患者さんの診療に関する理解度も深まるため、業務の効率化にもつながります。

そして、やはり重要なのはしっかりと通院をしていただくことだと思います。

通院を定期的にしていただくことで、治療効果はもちろん、治療満足度もあがっていきました。

また人間心理を学び、コミュニケーションに活かしていったことがとても良かったと思います。

患者さんの自己肯定感、自己重要感を大切にすることが、治療をスムーズに進めるポイントだと思っています。



主に取り組んだアクション一覧

- ▶ Web対策の強化
- ▶ 運動器リハビリ・物理療法の強化
- ▶ 患者対応・コミュニケーションの強化
- ▶ 業務のオペレーション強化(スタッフ教育)
- ▶ スタッフへの当院の方向性の説明

▼交通事故ページやバナーの作成



▼Web予約システムの運用



▼HPの充実とブログでの情報発信



◆ 交通事故診療の強化で起こった変化と今後の展望

さまざまな対策を試行錯誤してきたことで、

治療効果、満足度ともに上がり、

患者さんは納得して治療を終えられることが増えました。

患者さんの気持ちに寄り添うこと、そして、納得して治療を受けていただくことが大事なんだと実感しています。

患者数はどんどん増えていってますが、必要な対策を講じ、効率化をすれば負担は感じません。

初めは不安もありましたが、システムやスタッフ教育で対応できると思います。

何より、地域に信頼される医療を提供をするためには、交通事故診療を強化していくことは、必要だと思います。

結果として業績が上がっており、

交通事故診療が収益の柱の一つになって、達成感を感じています。

これからもさまざまな対策をさらに進めることで、

交通事故被害者が、安心して治療を受けられる体制を強化していきたい
と思います。

そして当院としては、今後、保険診療の枠組みを超えた受け皿として、自費の治療が行えるような施設の運営も考えています。

『信頼される医療』を提供しながら、西尾市の健康寿命を延伸し健康増進を図れる法人を目指していきたい
と思います。

うえだ整形外科クリニック 院長 上田 英範



【船井総合研究所 解説講座】 整形外科クリニックの交通事故診療のこれから

ここまでお読みいただいた皆様へ

申し遅れましたが、私は株式会社船井総合研究所にて、整形外科クリニックのコンサルティングをしております、小栗 陵太(おぐり りょうた)と申します。お忙しいところ、本レポートをお手にとっていただきありがとうございます。



株式会社船井総合研究所
整形外科グループ
マネージャー
小栗陵太

交通事故診療も強化し、地域から信頼されるクリニックとして成長されているうへだ整形外科クリニックのこれまでの軌跡はいかがでしたでしょうか。

うへだ整形外科クリニックは、当初は不安もあったとのことですが、適切な情報発信の強化、オペレーションの構築などの仕組みづくりから患者対応、スタッフ教育の強化にも取り組まれたことで、交通事故治療の患者さんの治療満足度、治療効果を上げ、関連する業務も無理なくスムーズに対応ができる体制を整えられています。結果として、交通事故治療の患者さんは大幅に増加し、交通事故診療を診療の柱として確立され、クリニック全体の業績をアップさせながら、持続的な成長をされています。

うへだ整形外科クリニックのような交通事故診療も強化する整形外科クリニックが全国にさらに増えることで、整形外科クリニック、地域の患者さん双方にとって、メリットが大きい業界全体にとって、さらなる明るい未来が創造されていくでしょう。

また、地域に根差す整形外科クリニックにとって、交通事故診療の強化はクリニックの持続的な成長に欠かせないものだと思います。

それでは、ここまで本レポートをお読みいただいた皆様に、整形外科クリニック運営における交通事故診療の立ち位置や現状について、4つのポイントを解説させていただきます。

①交通事故診療のマーケットは地域にまだまだある！？

交通事故患者は物損事故扱いが増えているが
実際には負傷者も多く治療需要は大きい

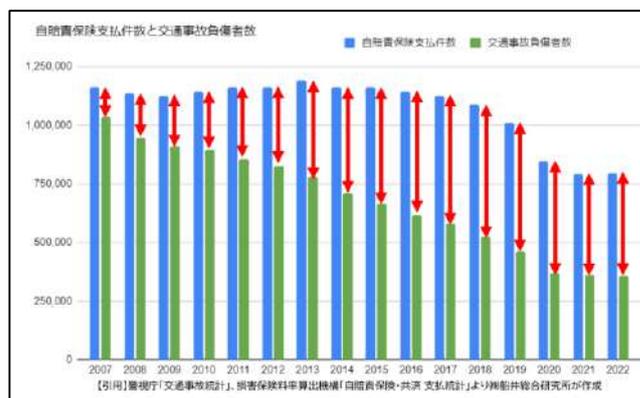
警視庁(交通事故統計)によると、交通事故の発生件数は年間約30万件、負傷者数は約36万名、損害保険料率算出機構(自賠責保険請求件数)によると傷害件数は約80万件です。交通事故統計と

自賠責保険請求件数の数値乖離の正体は「物損事故の負傷者数」です。確率論的に言うと、1,000人に約6人が交通事故で負傷しています。

交通事故は身近で起きており、交通事故負傷者に対する

整形外科クリニックによる治療需要は大きいのです。

そして、交通事故患者の集患を積極的に強化している整形外科クリニックはまだ多くありません。そのため、整形外科クリニックが交通事故診療を強化することに関しては、まだまだブルーオーシャンであると言えます。



②不利益を被っている方が多い！？

交通事故治療に適切に通われておらず、後から
整形外科クリニックに通院しようとしても、自賠責保険による
治療が十分に受けられず不利益を被っている人が多い

交通事故治療においては、医療機関への通院の必要性を把握しておらず、十分に通院されていないといったケースもあるかと思われます。結果としては、後から交通事故治療の仕組みを知ったことで、「十分な治療を受けられなかった」「診断書による十分な補償が得られない・示談交渉が不利になる」というようなことにつながる可能性があります。これは、交通事故直後から治療における十分な知識があれば防げることです。

そのため、交通事故直後に情報検索をされることが多いWeb上で、適切な情報が得られることは、交通事故被害者の救済につながります。

整形外科クリニックによる適切な情報発信で地域の治療難民を救うことができるのです。



③クリニックに対する期待値が高いとクレームにつながりやすい！？

地域で1番になってくるとクチコミで「あのクリニックなら何とかしてくれる」という期待値の高い状態でご来院されるので、しっかりと対応しないとクレームにつながりやすい傾向にある地域の評判があがり、クチコミもよいと、多くの患者さんがご来院されるようになり、”ここだったら、良くなるかもしれない”と期待値の高い患者さんも増えてきます。これはもちろん、交通事故に遭われた患者さんも含まれます。一方で、期待値が高い分、十分な対応をしないと、クレームにつながりやすくなります。そうすると、その対応に追われスタッフが疲弊してしまいます。結果として、集客全体にも悪影響が出てしまい、クリニックにとっても大きな不利益につながります。

そのため、地域に根差す整形外科クリニックは、今後の持続的な発展のためにも、交通事故診療も適切な対策強化をしていくことが求められるのです



④適切な交通事故診療の強化は、患者さん・クリニック双方にメリットが大きい！

適切に対応をすることで患者さんの治療満足度は上がり、オペレーションや作業は楽になり、売上にもインパクトが出る！適切な情報発信をすると、交通事故治療の流れ、仕組みが理解される方が増えていきます。ご来院時の基本的なフローを決めることで、それはさらに促進されます。そうすると、適切な頻度で定期的に通院され、リハビリ治療を受ける方が増えていき、患者さんの治療効果も上がりやすくなるでしょう。患者さんの所見が追いやすくなり、診断書も書きやすくなるでしょう。

また、クリニックへの信頼度が上がると、治療に対して主体的・協力的にもなりやすく、患者教育もスムーズになります。

途中離脱される方や初回のみ

しか来院されない方も減るので、

月当たりの患者数も自然と増加していき、

1人当たりの請求単価が高くなります。

そして結果的に、交通事故診療の売上が上がり、

クリニック運営を支える診療の柱として確立することができます。



「整形外科クリニックにおける交通事故診療の強化レポート」をお読みいただいた熱心な皆様へセミナーのお知らせです。

お忙しい中、本レポートをここまでお読みいただきまして、ありがとうございます。

弊社では、これまで多くの整形外科クリニックの、業績向上のお手伝いをしてまいりました。

そして最近では、全国各地で交通事故診療を強化し、診療の柱として確立されるクリニックが増えてきています。

適切な対応を無理なく強化していくことで、

“治療効果・満足度は上がり”、

”業務やオペレーションは楽になり”、

”地域の評判もさらに上がっていく”、

そのような事例が全国で続出しています。そして、結果として、自賠責患者数・業績も伸び、クリニック運営を発展・安定させる診療の柱として確立することができます。

本レポートをご覧になっている先生方は「交通事故診療の強化」について、ご興味をもたれているかと思います。

しかし、医療保険とは違った交通事故診療特有の対応や業務の大変さから、取り組みづらいという印象が業界全体に根強くあったかのように思います。

そこで今回は、本レポートでご紹介させていただきました交通事故診療も診療の柱の一つとして確立されている

うえだ整形外科クリニックの院長 上田 英範 氏を

ゲストとしてお招きし、

交通事故診療の大変さを解消しながら

無理なく強化するノウハウを大公開するセミナー

を企画させていただきました。

本セミナーでお伝えする内容を
ほんの一部ご紹介させていただきますと、、、

- ・交通事故に遭われた患者さんへの早期介入のポイント
- ・訴えが強い方にも満足いただくためのコミュニケーション
- ・自賠責保険売上を安定させるためにチェックすべき数値項目
- ・自賠責保険の業績アップに向けた目標設定と管理方法
- ・集患、業務効率化につながるホームページの動線の作り方
- ・集患、業務効率化において効果的な

交通事故ページの内容作りのポイント

- ・既存患者からの自賠責患者を紹介してもらう方法
- ・Webで検索される交通事故関連のワードで、

上位表示されるための秘訣

- ・無料で対策できる交通事故に関するWeb対策
- ・交通事故患者の集客に効果的な「ネット広告」の使い方
- ・交通事故患者数が月間50名以上来院されるクリニック

における患者さんの受け入れ方法

- ・交通事故患者の新患が月間10名を超えたクリニックの取り組み
- ・患者満足度アップ、患者数増加につながるリハビリ受け入れ体制
- ・途中離脱を防ぎ、適切な頻度で通ってもらうための通院指導
- ・交通事故治療に最適な運動器リハビリと

物理療法をかけあわせたりハビリ治療

- ・スタッフ全員が患者さん対応のレベルを上げるための施策
- ・交通事故の知識を効率的に取得するためのマニュアル紹介
- ・診察室とリハビリ室との連携を強化し、

説明の流れを統一した通院指導方法

- ・満足度も高めながら、診療効率化を実現する

多職種連携型の診療スタイル

- ・「治療費がかからないとは知らなかった」
「もっと通えるなら先に言ってほしかった」
などのクレームを未然に防ぐためのスタッフ教育
- ・交通事故患者からの問い合わせ対応策
- ・効率化・リスクマネジメントになる弁護士事務所との連携事例
- ・患者数・患者満足度アップにつながる整骨院との連携事例

詳細を知りたい方は、本セミナーへご参加ください。

この度、2024年に弊社が開催いたしました「整形外科向け 交通事故診療強化セミナー」へのお問い合わせを多数いただいたため、オンラインにて再度セミナーを開催する運びとなりました。

地域一番レベルのクリニック、
年商2億円を超えてきたクリニック、そして
今後それらを目標としている整形外科クリニック
の経営者は、
ぜひ、本セミナーにご参加いただければと思います。

本セミナーが、
「どのような整形外科疾患においても、
交通事故診療においても、
あの整形外科クリニックに行けば安心！」という
基盤を作り、
地域で選ばれる整形外科クリニックとして、
さらなる発展を目指す上での一助になれば幸いです。

みなさまのご参加をお待ちしております。

株式会社船井総合研究所
医療支援部
整形外科グループ
マネージャー
小栗 陵太

【追伸】

本セミナーは、
本やネットには載っていない情報を知ることができる
現場のリアルが詰まったセミナーです。

”実際に成果が出ている早期介入の仕組みづくり”、
”満足度を高めるための交通事故診療の受け入れ体制”、
”スタッフを巻き込みながら交通事故診療を強化していく秘訣”

など、すぐに活用できる内容が盛りだくさんです。

今回は、オンラインでの開催になるため、
自宅からでもセミナーをご受講いただくことができます。

ぜひ、今すぐスケジュールをご確認いただき、
下記のQRコードよりお申し込みください。

